

処暑も過ぎ、里山に秋の気配が漂い始めた気がします。今年の夏は夏らしい日が少なく、毎日のように雨が降りました。

異常なまでの降雨量を記録した東北地方などでは、河川の氾濫など災害が発生し、被災された地方の皆様には心から御見舞いを申し上げます。幸い本村では大雨とはならず、昨年のような土砂災害も無く今のところ安堵してはいますが、まだまだ9月、10月と台風シーズンが続き気を緩めることなく防災対策を講じてまいりたいと思います。

コロナと悪天候に悩まされ続けた8月でしたが、14日には商工会青年部が中心となって組織された東白川村夏まつり実行委員会主催の夏まつりが開催されました。主催者発表で450人ほどの参加があり、規模縮小ながらも東白川村の夏を楽しんでいただけましたこと、実行委員会の皆さんの努力に感謝申し上げます。

私はこの夏まつりで、改めて東白川村の宝物を三つ実感いたしました。

一つ目は、コロナで疲弊している村を元気にしたいという村の若者達の熱意です。会場で目を輝かせながらてきぱきと動く皆さんを見てると、全員が命令されてやっているのではなく本当に村の役に立ちたいという気持ちがあらわれていて、頼もしくも嬉しく感じました。

二つ目は、中学校の吹奏楽部を中心とした吹奏楽クラブの皆さんの演奏です。中学生の数が少ない中で、OBや先生方も応援に駆けつけての演奏で、東白川中学校の伝統を守ろうという気概を感じることができました。

三つ目は、桧茶太鼓保存会です。こちらの演奏も、子ども達や新しく参加いただいた打ち手の皆さんによる演奏が大変上手で、長年桧茶太鼓の演奏を聴いてきた私ですが、その仕上がりのよさに感心させられました。

見事に打ち上げられた花火を見て、東白川村は元気を失ってはいないことを確信した夜でした。

第7波に突入している新型コロナウイルス感染症は、感染拡大に歯止めがかからない状況で推移していて、8月23日には過去最高の感染者数を記録いたしました。このところ前の週の同じ曜日より減少する傾向にはなってきましたが、大変心配な状況であると思います。感染された皆様やその御家族の皆様には心から御見舞い申し上げます。今や、誰もが感染し得る状況であると言えますので、引続き基本的な感染防止策を徹底していただくようお願いいたします。

9月は郷土歌舞伎公演、小学校の運動会、20回目を迎える老人福祉大会などが予定されています。秋フェスタも11月13日開催予定で、既に準備に入りました。

コロナを正しく恐れて感染防止に十分な注意を払い、ウィズコロナの生活様式を皆様方と力を合わせて構築していきたいと考えております。

令和4年9月1日

東白川村長 今井俊郎